



# 津田小だより

松江市立津田小学校

令和7年9月17日

校長 小林 敏朗

およそ40日間の夏休みを終え、子どもたちが「おはようございます。」と元気なあいさつとともに津田小学校に帰ってきました。今年の夏は「猛暑」「酷暑」と言われたように暑い毎日が続き、子どもたちは元気に過ごしているかなと心配していました。8月29日（金）の始業式から登校日数79日間の2学期が始まりました。「猛暑」や「酷暑」まではいかないまでも、まだ暑い日々が続きそうです。まずは、子どもたちも我々大人も暑さに負けず、体調管理に努めたいものです。

## 2学期始業式の話

8月29日（金）の始業式では次のような話をしました。

おはようございます。今日から2学期が始まります。昨日までの夏休みは元気に過ごしましたか？今日こうしてみんなの元気な顔に出会えたこと、今朝昇降口のところで元気なあいさつの声が聞けたこと、とてもうれしく思いました。

今日から2学期が始まりますが、夏休みに先生たちは研修会、みんなと同じように勉強をしていました。その勉強会の中の一つで「津田っ子に身につけてほしい力」について話し合いをしました。みんなに身につけてほしい力はたくさんあるけど、その中から2学期は「自分を見つめる力・自分をふりかえる力」を身につけてほしいと思います。これらの力を身につけるため、どんなことをしてほしいかという「自分のいいところをたくさん見つける2学期」にしてほしいと思います。

これから「例えば」を言うから、自分のことだなと思ったら「ウンウン」とうなずいてみてください。

### ①「〇〇が得意だよ」

走ること。ボールを使った運動。歌を歌うこと。楽器。手先が器用。絵を描くこと。学級のみんなを盛り上げること。冗談を言って友達を笑わせること。友達と仲良く遊ぶこと。

### ②「◆◆をがんばっているよ」

元気なあいさつ。漢字練習。計算練習。字をていねいに書くこと。音読を上手にすること。たくさん読書すること。わかりやすくお話すること。授業中の姿勢。授業中、発表をよくすること。先生の話や友達の発表をよく聞くこと。困っている友達に優しくすること。いけないことをしている友達に注意すること。忘れ物をしないこと。机の引き出しやロッカーをいつも整理整頓すること。掃除を時間いっぱい一生懸命することなど。

こういう自分のいいところをたくさん見つけてほしいと思います。そして、たくさん見つけるために、次のようなことをしてほしいと思います。

- ・ 1時間1時間の授業や活動の終わりに、自分ができたことやわかったこと、まだわからないということをふりかえりをしてほしい。
- ・ 1日の生活の終わりに、今日がんばったこと、先生に誉めてもらったことなど、1日をふりかえってほしい。

このように振り返る習慣を身につけてほしいと思います。また、

- ・ 自分だけでは気がつかない「自分のいいところ」もあると思います。友だちとお互いに見つけて合って、教えてもらうといいですね。自分のいいところをたくさん見つける2学期にしてほしいと思います。

先生たちもたくさん、みんなのいいところを見つけていきますよ！

さあ～、2学期の始まりです。2学期をみんなで伸びる、成長する学期にしていきましょう。

夏休みに本校の教員で「津田っ子に身につけてほしい力」というテーマで話し合いをしました。その結果を分類してみると「自己理解」「自己受容」に関わる内容がどの学年からも挙がってきました。(他にも思考力や表現力、基礎学力などが挙がりました。)実は前任校でも前々任校でも同じような話し合いをしました。が、「自己理解」「自己受容」に関わることは多くは挙がらなかったのです。教員の構成メンバーも違いますので一概には言えませんが、津田っ子の一つの特徴として「自己理解」「自己受容」が挙がったのかもしれない。そこで、「自己理解」「自己受容」の力を促すために、『自分を見つめる力』『自分をふりかえる力』を伸ばしてほしい。自分のいいところをたくさん見つける2学期にしてほしい。」という話をしました。まずは、自分のいいところをたくさん見つけ、自分の強みをしっかりと伸ばして自己肯定感を高めてほしいと思います。

それが高まることにより、安全・安心な学校生活、心理的安全性の高い学級や学年につながることを考えています。保護者の皆様にはこのようなことについてご理解をいただき、ご家庭で夕食時にでも1日をふりかえる会話をしたり、お子さんのいいところや強みを見つけ伝えていただいたりすると喜びます。

2学期もこれまでと変わりませず、本校の教育活動にご理解、ご協力、ご支援をいただきますようお願いいたします。

### 子どもたちのふりかえりから…

子どもたちは、いろいろな教科・領域の学習や活動、学校行事の後にふりかえりをしています。ノートやプリントに学んだことや思ったことなどを書いたり発表したりするようにしています。先程お伝えしました「自分を見つめる力」「自分をふりかえる力」を伸ばしていくためにも、このふりかえりの取り組みを大切にしたいと考えています。

そこで一部ですが、子どもたちのふりかえりを紹介します。

<4年生算数(小数のたしざん・ひきざん)>

みんなで筆算をしたら、二つのモヤモヤがすっきりしました。〇〇さんが見えない0の問いを出してくれたおかげで、答えが出しやすくなりました。他にも1/1000の位と1/100の位を足したり引いたりする計算もできるのかという問いができました。

今日、小数のたし算ひき算をして、一つ目のモヤモヤは消えたけど二つ目のモヤモヤは先生に教えてもらったけど、まだうっすら残っています。「かけ算やわり算もできるのか？」という問いができました。

この算数の時間において、モヤモヤがすっきりした子と、うっすら残っている子のふりかえりです。どちらの子も学んだことをふりかえり、しっかりと自分の学びを見つめることができているように思います。また、ふりかえりを通して、次の時間や今後に向けての「問い」も生まれてきています。ふりかえりでも授業中でも「問い」が生まれ、連続することにより子どもたちの学びはどんどん深まっています。

「津田っ子に身につけてほしい力」から

自分を見つめる力・ふりかえる力



自分のいいところを  
たくさん見つける2学期



### <5年生算数（合同な図形）>

今日の一番の学びは「四角形（の内角の和）は三角形に分けて三角形の3つの角の和が180度であることを使う」ということです。あと、今日の学び方は、手を1回しか挙げられなかったから、もっと手を挙げて、前で発言できるようにがんばりたいです。ペアやフリーでは話せるようになってきているから、みんなの前で説明したいです。（後略）

この算数の時間に学んだこと（一番の学び）をふりかえり、まとめて書いています。学んだことを書いたり話したり、アウトプットすることにより学びは定着します。また、次に向けて「手を挙げて前で発言する」ことを目指したいと書き、自分自身の学び方についても考えています。そして、「ペアやフリーでは話せるようになってきているから…」というところに自分自身の成長を実感していることがうかがえます。

### <3年生学級活動「バースデープロジェクト」>

赤ちゃんが生まれるまで280日かかるのと、劇で知らなかったことをたくさん知りました。劇で〇〇さんが赤ちゃんを生むとき大変そうだったので、お母さんもぼくを産むとき、こんなに大変だったことを知りました。最初はあんなに小さいことに一番驚きました。

きっとこの子は、これまで知らなかったことをたくさん新しく知り、吸収したことでしょう。そして、新しく知ったことや学んだことを自分自身の誕生と結びつけて考えています。新しく知って終わり、学んで終わりではなく「自分自身はどうだったのか？」という次の問いや疑問が生まれてきています。

### <6年生学級活動「インクルーシブな社会についての理解学習」>

この授業で最初は「何に見えるか？」をすると、いろいろな見方があったことがわかりました。自分の見方だけではなくて、他の人の見方を考えるといいと思いました。次は、例えば耳が不自由で話せない人がいたら、何を伝えたいか想像して相手のことをちゃんとわかってあげたいです。この授業でわかったことは、もっと相手の立場になって、ちゃんと相手のことを考えて行動することです。これからも今日思ったことを意識していきたいです。

6年生くらいになると、1時間の授業でいろいろなことを考えていることがわかります。学んだことを「例えば」で考え、自分自身の生活や今後の行動やふるまいにも思いを巡らせています。授業中に思ったことや考えたことが、ふりかえりを書くことにより整理でき、更に深まっているように感じます。

ほんの一部のふりかえりを紹介しました。子どもたちがその時間に学んだことや活動したことをふりかえることによって、一人一人の「学びの自覚」が促されます。「自分は何を学んだのか」「何を考えたのか」「次はこんなことを考えたい、やってみたい」などをアウトプットすることにより認識することができます。また、「自分自身の学び方はどうだったのか」という学び方についてもふりかえり、次の時間につなげることができます。

今後も機会をとらえて、子どもたちのふりかえりを紹介していこうと考えています。